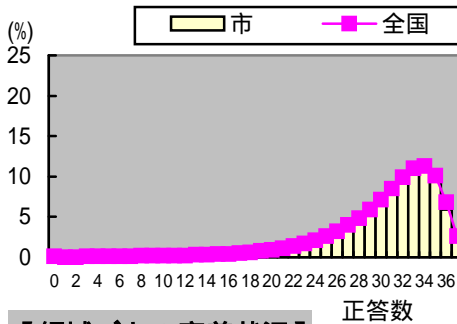


1 教科について

国語 A

全国平均 81.6 市平均 81.9
学校平均 84.6

【正答数の分布状況】



【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
話す・聞く	90.1	90.4	93.2
書くこと	73.4	73.6	76.3
読むこと	80.6	80.8	84.2
言語事項	80.3	80.4	82.7

【問題形式による定着状況】

問題形式	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
選択式	84.2	84.8	86.4
短答式	79.3	78.9	82.8
記述式	72.4	71.2	75.4

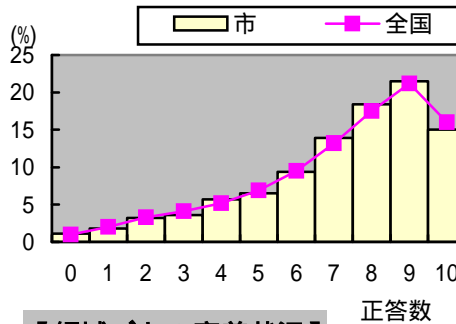
定着状況

国語の全領域において、国、市の平均を上回っており、特に「読むこと」の領域は、「朝の読書」や「読書カード」の記録などにより読む力が定着し、成果が出てきており、達成状況は良好である。
文脈に即して漢字を正しく使用する力や伝える必要のある内容をメモにまとめる力がよく定着している。

国語 B

全国平均 72.0 市平均 72.0
学校平均 74.0

【正答数の分布状況】



【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
話す・聞く	81.3	81.3	74.3
書くこと	64.4	64.4	65.7
読むこと	70.6	70.8	74.3
言語事項	68.5	68.7	67.3

【問題形式による定着状況】

問題形式	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
選択式	79.3	79.3	78.9
短答式	63.5	64.4	75.7
記述式	64.4	64.4	65.7

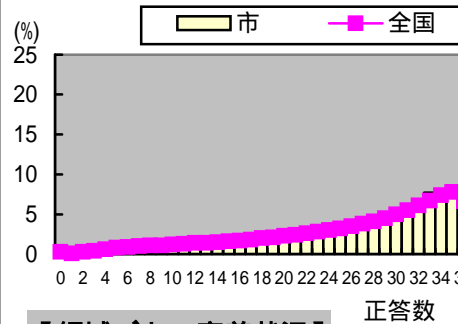
課題

携帯電話やメール等の普及により手紙を書く機会が減少していることもあり、手紙に関する設問で、「手紙の後付けの適切な書き方」ができていなかった。
資料に表れているものの見方や考え方をとらえる力が不足しているように思われる。

数学 A

全国平均 71.9 市平均 73.6
学校平均 76.4

【正答数の分布状況】



【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
数と式	74.4	76.6	78.9
図形	75.5	77.2	79.0
数量関係	65.9	66.9	71.1

【問題形式による定着状況】

問題形式	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
選択式	70.9	71.6	73.5
短答式	73.0	75.6	79.2
記述式	-	-	-

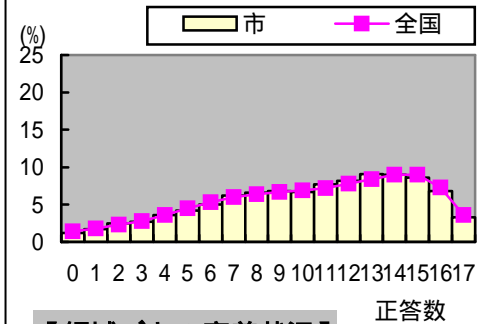
定着状況

数学 A (知識) では、数と式、図形、数量関係の全領域と、表現・処理、知識・理解の 2 観点の全てにおいて、国・県の平均を上回っており、達成状況は良好である。
数学 B (活用) では、選択式の問題で国・県の平均をやや下回っているが、他は全て平均以上である。選択式の設問数が少ないこともあり、達成状況は良いと考えられる。

数学 B

全国平均 60.6 市平均 60.6
学校平均 62.9

【正答数の分布状況】



【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
数と式	48.2	48.4	49.5
図形	53.1	52.0	56.7
数量関係	67.9	68.0	71.3

【問題形式による定着状況】

問題形式	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
選択式	63.9	64.7	63.7
短答式	74.2	74.1	77.0
記述式	45.1	44.8	49.1

課題

数学 B (活用) の記述式の形式において、国・県の平均を上回ってはいるものの正答率は 50% 未満である。しっかり書くことは、やや苦手だと思われる。
数学 B (活用) の 5 (3) では、国・県の平均を大きく上回っており、自分の考え方を説明することはできる。しかし、他者の考え方を理解し、説明することはあまりできない。

2 意識調査について

(1) 生活・学習

基本的な生活習慣 (生活リズムの安定、身辺整理が自分できる、テレビ視聴量は少ない等) 及び学習習慣 (宿題をする、学習時間を適度にとっている等) はおおむね確立されている。
1 日の読書量がやや少ない。家庭で親と一緒に朝食、夕食をとっている生徒が、全国 54% に対し、本校 35% である。世の中のこと等ニュースや新聞に興味が少ない、地域の行事に参加が少ない。

(2) 教科

【国語】

国語の勉強は、あまり好きでないが、将来、社会に出た時、役に立ち、大切だと考えている生徒が多い。
自分の思いや考えを書いたり、友達と話し合っって意見交換をする場面が少ない。

【数学】

数学の勉強が大切だと思っている生徒が 80% 近くおり、授業の内容がわかると回答した生徒が 75% 以上である。
「数学の勉強が好き」と回答した生徒は半数以下で、「普段の生活の中で活用する」「社会に出たとき役に立つ」「普段の生活で役に立つ」等の意識が、県平均・全国平均を下回っている。

3 確かな学力の定着と向上に関する研究目標

< 研究主題 > 研究の視点 確かな学力を培い、自主的に学ぶ意欲・態度を育てる

4 指導改善に向けた具体的な取組

国語

- ・手紙を通じて、書写学習の時間を確保し、「手紙の書き方」の指導をする。
- ・資料に表れているものの見方や考え方をとらえる力を伸ばすために、文章相互の関係の図化指導を取り入れる。

数学

- ・引き続き、見方や考え方を育てることを意識した授業を展開していく。
- ・自分の考えを伝えるとともに、他者の考え方の良さを理解するために、他者との交流の場を数多く設定していく。
- ・自分の考え方を説明させるためのワークブック等の工夫をしていく。

生活・学習習慣等

- ・国語科を中心に読書活動に取り組んだり、一定量の読書をしたら学校長から印を出す。朝読書の継続。
- ・保護者に現状を伝える。

